



MAXQDA QTTによる レポート作成の効率化

SASO Tomoko - How QTT improves efficiency of research report writing with MAXQDA

このセッションでは

- MAXQDA 2022から新たに加わったQTTワークスペース
 - QTT以前
 - QTT – Questions – Themes – Theories とは
 - QTTを使い始める

このセッションでは、第56回（2022年）アメリカ学会年次大会（6月4日）自由論題報告

「[計量テキスト分析を用いた葬儀業界誌 *The Casket* の研究 —1870 年代から 1890 年代の掲載広告を中心に—](#)」

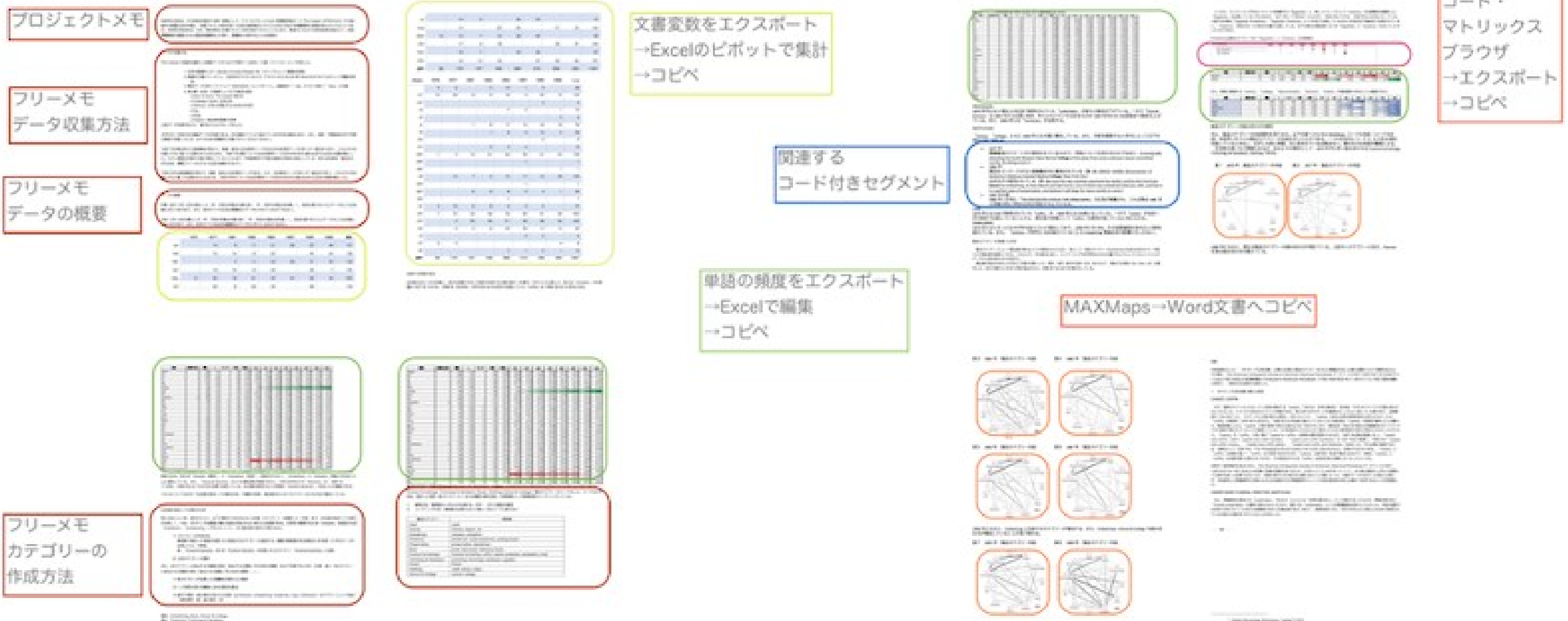
報告者: 黒沢眞里子（専修大学）

で使用したMAXQDAプロジェクトファイルや報告書を、許可を得た上で使用しています。

この研究はアメリカでもっとも古い葬儀業界誌の一つ *The Casket* が刊行された19世紀後半の広告を対象に、計量テキスト分析を用いて広告の経時的变化を明らかにすることを目的とし、MAXQDAを使用しています。報告内容は上記リンクより全文をご参照ください。

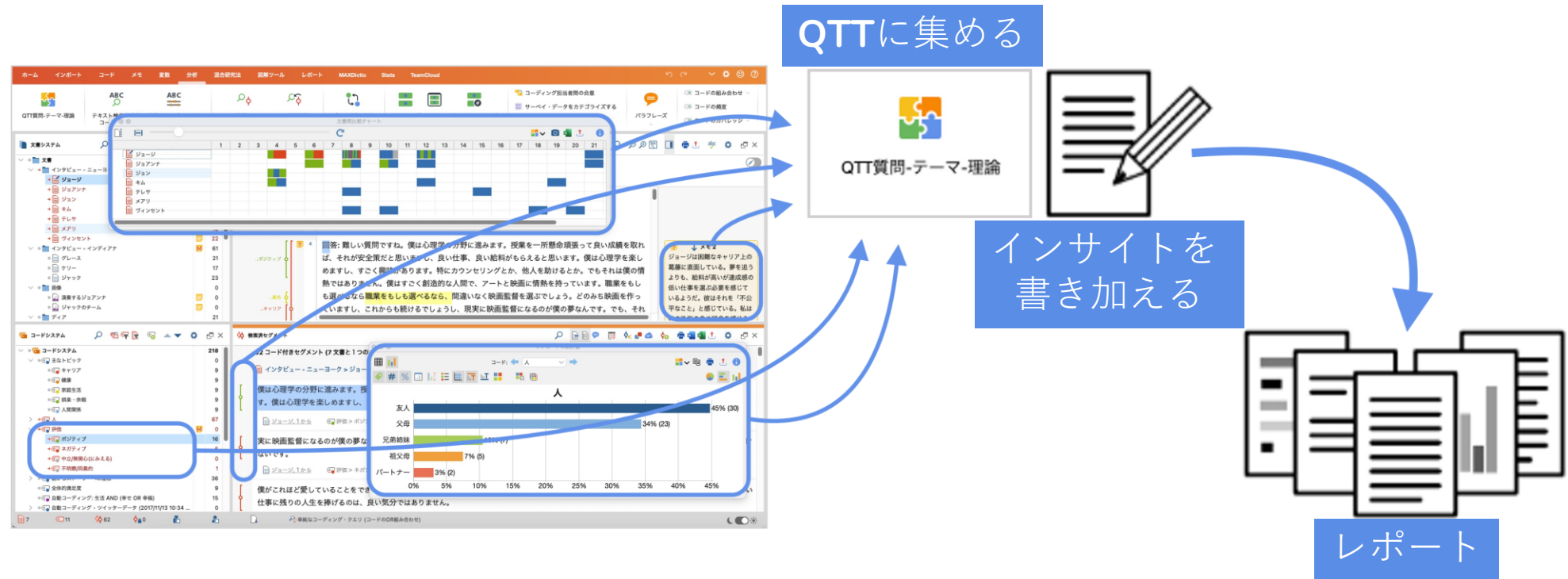
本資料およびセッションのデモでは、プロジェクトファイルと報告書の一部のみを、説明しやすいよう抜粋・編集して使用していますので、ご了承ください。





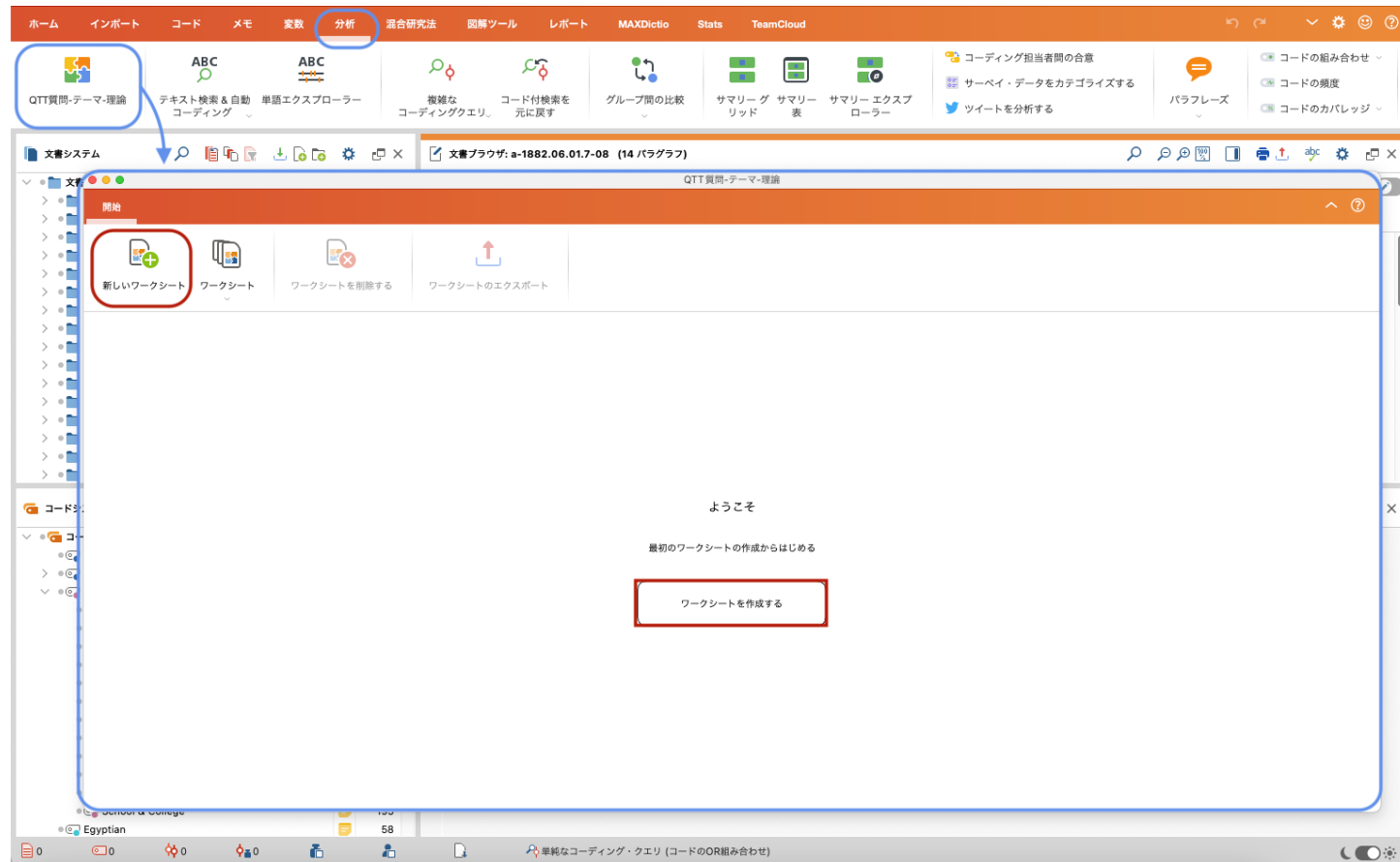
QTT – Questions – Themes – Theories

- MAXQDA プロジェクトと研究報告書との間を橋渡し



QTTを使い始める -1

- ワークシートを作成する



定性調査用の新しいワークシート

ワークシート名
頻出語の検討

主題
あなたの研究で扱われている主題とトピックは何ですか？
葬儀業界誌の一つ *The Casket* が刊行された19世紀後半の広告を対象に、広告の経時の変化を明らかにする

リサーチエスション
あなたのリサーチエスションは何ですか？また、そのエスションではどのコンセプトを扱っていますか？
アメリカ人の死に対するポジティブな態度を示す単語が広告にどのように現れているか？
頻出語に経時の変化は見られるか？

OK キャンセルする

17.03.2023

How QTT improves efficiency of research report writing
with MAXQDA - SASO Tomoko



QTTを使い始める -2

- 要素を集める
 - コード、メモ、サマリー表、コンセプトマップ → [要素を追加する]
 - コード付きセグメント → ドラッグ&ドロップ / コンテキストメニュー
 - コード付きセグメント一覧、図解ツール、統計図表など → [QTTシートへ送る]



QTTを使い始める -3

- インサイトを書き加える: 項目ごと → まとめ

QTT 質問-テーマ-理論 - 頻出語の検討

開始

新しいワークシート ワークシート ワークシートを削除する ワークシートのエクスポート

関連するコードとテーマ Important Segments サマリー表 関連メモ 図表と統計 コンセプトマップ インサイトの統合

コード	重要セグメント	サマリー表	関連メモ	図表と統計	コンセプトマップ	インサイトの統合
work	4	448	0.37	35	317	20.44
work	4	448	0.37	35	317	20.44
which	5	430	0.35	36	253	16.31

インサイト

広告数のばらつきを考慮し、語の出現数ではなく単語が出現する文書の割合（文書%）で年ごとに比較した。例えば「embalm」の出現数は1877年: 9.41%、1898年: 39.92%。1876年には34.62%で出現していた「coffin」は1898年には5.32%となる。

ここでは単語の出現頻度を見ているため、同じトピックに関連する単語であっても品詞が異なれば別の単語としてカウントされるなど制約もある。例えば「embalm（動詞）」と「embalmer（名詞）」は統合されない。「embalmer」も「embalm」同

コードマトリックス・ブラウザ

コードシステム	1876	1877	1881	1882	1883	1887	1895	1898
Egyptian								
science								

インサイト

エンバーミングの古いイメージを象徴する「Egyptian」と、新しいイメージとして「science」の出現傾向を確認した。1883年以降は「Egyptian Embalmer」「Egyptian Chemical」という社名で出現しているのみで広告本文や製品名では使われていない。「Science」1898年に12.28%の文書に出現している。

QTT 質問-テーマ-理論 - 頻出語の検討

開始

新しいワークシート ワークシート ワークシートを削除する ワークシートのエクスポート

関連するコードとテーマ Important Segments サマリー表 関連メモ 図表と統計 コンセプトマップ インサイトの統合

まとめ: すべてのインサイトを結論として統合し、仮説や理論を構築する

単語の頻度

広告数のばらつきを考慮し、語の出現数ではなく単語が出現する文書の割合（文書%）で年ごとに比較した。例えば「embalm」の出現数は1877年: 9.41%、1898年: 39.92%。1876年には34.62%で出現していた「coffin」は1898年には5.32%となる。

ここでは単語の出現頻度を見ているため、同じトピックに関連する単語であっても品詞が異なれば別の単語としてカウントされるなど制約もある。例えば「embalm（動詞）」と「embalmer（名詞）」は統合されない。「embalmer」も「embalm」同様に年を追うことに増加している。また、「funeral director」のような複合語は考慮できない。1870年代は0の「director」が、1887年17.35%、1898年には14.07%の文書で出現している。元文書を参照すると大多数が「funeral director」であることが確認できる。

これらについては次の「注目語を指定しての傾向分析」で複数の単語・複合語をまとめてカテゴリー化する方法で検討している。

図表と統計

コードマトリックス・ブラウザ

エンバーミングの古いイメージを象徴する「Egyptian」と、新しいイメージとして「science」の出現傾向を確認した。1883年以降は「Egyptian Embalmer」「Egyptian Chemical」という社名で出現しているのみで広告本文や製品名では使われていない。「Science」1898年に12.28%の文書に出現している。

図表と統計

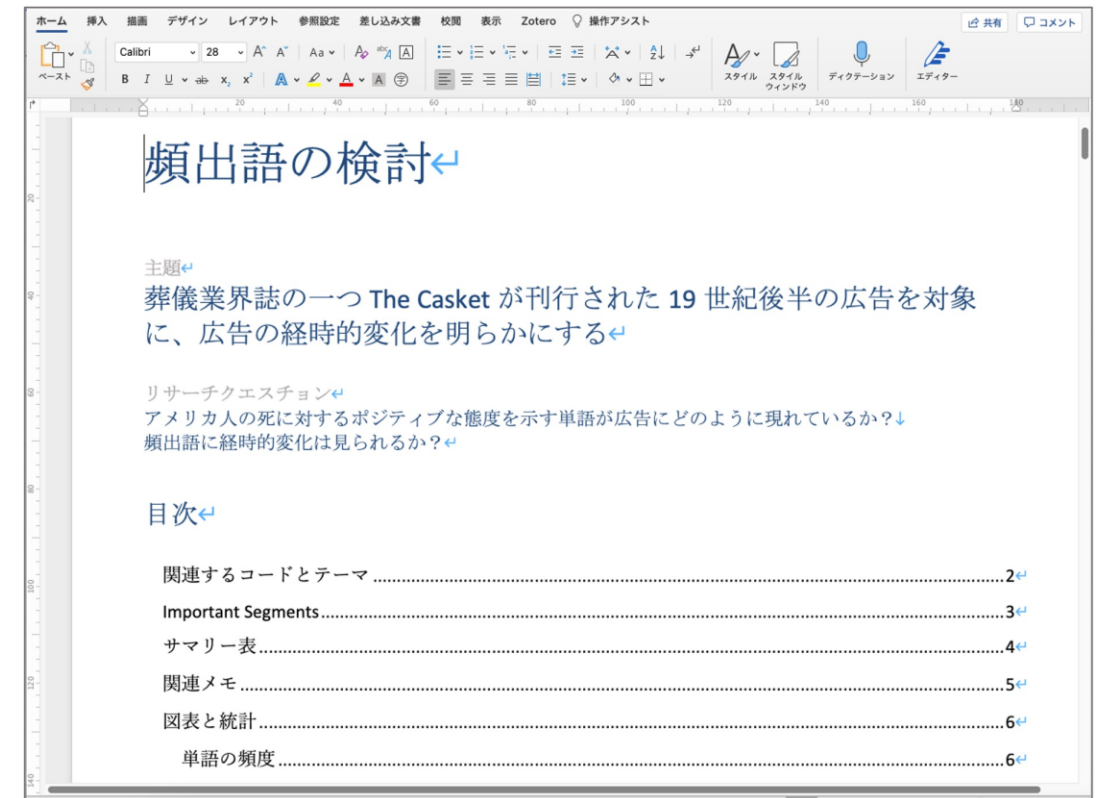
インサイトの統合

結論や洞察、理論をここに入力



QTTを使い始める -4

- ワークシートをエクスポートする



参考

- [MAXQDA Online Manual - QTT](#)
- [MAXQDA Blog 翻訳版 - MAXQDAのQTTが分析の質を向上させる](#)
- QTTの例: サンプルプロジェクト「ENG/Work Life Balance.mx22」



笹生智子 saso@qdaa.info

質的データ分析研究会 www.qdaa.info

